

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
小児看護学	小児特有の健康障害	1	30	2年次前後期	京都第二赤十字病院 医師

テキスト(発行所)	小児看護学[2] 小児臨床看護各論(医学書院)
参考図書・参考資料	随時提示

学習のねらい	小児におこりやすい健康障害についての症状や治療、関わりについて学ぶ。
学習目標	1. 小児期にみられる各系統別の主な疾患と症状が理解できる。 2. 子どもの事故・外傷について理解できる。 3. 子どもの虐待について理解できる。

学習スケジュール			
回数	主 題	学習内容	
1回	子どもとは 染色体異常・胎内環境により発症する 先天異常 新生児・低出生体重児の疾患	・子どもの成長、発達 ・ダウン症候群、18トリソミー症候群 ・新生児(出血性疾患、頭蓋内出血) ・低出生体重児(呼吸窮迫症候群、未熟児網膜症)	小児科医師 講義
2回	子どもに多い代謝性・内分泌系疾患	・糖尿病、下垂体疾患(低身長)、甲状腺疾患、肥満性早熟症、副腎疾患、低身長負荷試験	小児科医師 講義
3回	子どもに多い免疫・アレルギー性疾患	・アレルギー性疾患、食物アレルギー、IgA血管炎 アトピー性皮膚炎、膠原病 ・食物アレルギー経口負荷試験	小児科医師 講義
4回	子ども特有の感染症	・麻疹、風疹、突発性発疹症、水痘、手足口病、 流行性耳下腺炎、インフルエンザ、無菌性髄膜炎、 溶連菌感染症、マイコプラズマ、伝染性単核球症	小児科医師 講義
5回	子どもに多い呼吸器疾患	・上気道炎、気管支炎、肺炎、細気管支炎(RSウイルス) クループ症候群、百日咳、気管支喘息	小児科医師 講義
6回	子どもに多い循環器疾患	・先天性心疾患(ファロー四徴症、心房中隔欠損症) 川崎病、AED、不整脈、急性心筋炎	小児科医師 講義
7回	子どもに多い消化器疾患	・腸重積症、急性虫垂炎、急性腸炎・脱水、 胆道閉鎖症、肥厚性幽門狭窄症、 ヒルシュスプルング症	小児科医師 講義
8回	子どもに起こりやすい血液・造血器疾患 子どもに多い悪性新生物	・特発性血小板減少性紫斑病、血友病、貧血 ウイルス腫瘍、白血病、神経芽腫 ・終末期ケア	小児科医師 講義
9回	子どもに多い腎・泌尿器・生殖器疾患	・腎炎、ネフローゼ症候群、尿路感染症 先天奇形(尿道下裂、水腎症)	小児科医師 講義
10回	子どもに多い神経疾患	・てんかん、熱性けいれん、脳腫瘍 ・意識障害、筋疾患、ギランバレー症候群、二分脊椎症	小児科医師 講義
11回	子どもに多い運動器疾患	・先天性股関節脱臼、骨折、ペルテス病	整形外科医師 講義
12回	子どもに多い精神疾患	・脳性麻痺、精神遅滞、発達障害(自閉症、ADHD) ・心身症、摂食障害、不登校	小児科医師 講義
13回	子どもに多い事故・外傷	・交通事故、溺水、誤飲・窒息、熱傷、頭部外傷 ・一次救命処置	小児科医師 講義
14回	子どもの虐待	・虐待(早期発見・予防から支援体制の確立まで)	小児科医師 講義
15回	まとめ		小児科医師 講義

単位認定の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること 2. 筆記試験 100点満点 3. 1の要件を満たし、試験60点以上で合格
---------	---

受講上のアドバイス	
-----------	--